



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## **HPE ProLiant SCVMM Integration Kit (v 2016.12.0) ユーザーガイド**

### **摘要**

このガイドでは、HPE ProLiant SCVMM Integration Kit のインストールと使用についてその手順と前提条件を説明します。HPE ProLiant SCVMM Integration Kit は、ProLiant サーバーを展開するためのサポートを提供します。

部品番号: 696058-592  
発行: 2017 年 3 月  
版数: 1

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>4</b>
ライセンス.....	4
<b>サポートマトリックス</b> .....	<b>5</b>
サポートされる System Center 製品およびターゲットオペレーティングシステム.....	5
サポートされるターゲットサーバー.....	5
<b>インストールと構成</b> .....	<b>8</b>
インストール.....	8
構成.....	9
アップグレード.....	10
アンインストール.....	10
<b>Hyper-V の ProLiant サーバーへの展開</b> .....	<b>11</b>
ハードウェア構成.....	11
Hyper-V ホストの展開 .....	11
<b>ProLiant ファームウェアおよびソフトウェアアップデートの展開</b> .....	<b>12</b>
<b>トラブルシューティング</b> .....	<b>13</b>
ドメイン参加手順中に、OS の展開がターゲットサーバーで失敗する.....	13
一部のドライバーのブートイメージへの組み込みに失敗する.....	13
<b>サポートと他のリソース</b> .....	<b>14</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	14
アップデートへのアクセス.....	14
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録.....	14
Hewlett Packard Enterprise 製品販売店.....	15
Web サイト.....	15
カスタマーセルフリペア (CSR) .....	16
リモートサポート (HPE 通報サービス) .....	16
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	16
<b>用語集</b> .....	<b>17</b>

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商用製品の技術情報は、ベンダー標準の商用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

## 商標について

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

# はじめに

HPE ProLiant SCVMM Integration Kit は、SCVMM に以下を提供します。

- ProLiant サーバーを Hyper-V ホストマシンとして展開するためのドライバー  
このリリースには、以下が含まれます。
- Service Pack for ProLiant 2016.10.0 Windows Server ドライバー

このキットのバージョンでは、インストールおよびアンインストールのための PowerShell スクリプトを使用します。

## ライセンス

このキットは HPE OneView for Microsoft System Center の一部であり、HPE OneView または HPE Insight Control の一部としてライセンスが適用されます。別になったライセンスキーはありません。管理対象サーバーごとにライセンスを 1 つずつ用意する必要があります。

# サポートマトリックス

## サポートされる System Center 製品およびターゲットオペレーティングシステム

このキットは、以下のバージョンの SCVMM にインストールすることができ、以下のオペレーティングシステムを展開できます。

Host OS \ SCVMM	SCVMM バージョン	HPE サーバーに展開できるターゲット OS
Windows Server 2012 R2	最新の更新プログラムのロールアップが適用された SCVMM 2012 R2	Windows Server 2008 R2 SP1 <sup>2</sup> Windows Server 2012 <sup>1</sup> Windows Server 2012 R2
Windows Server 2016	最新の更新プログラムのロールアップが適用された SCVMM 2016	Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Nano Server

制限：

- PowerShell コマンドレットにアクセスするため、コンソール機器を持った管理サーバーである必要があります。
- ws2016-x64 ドライバーをインストールするには WS2016 + SCVMM2016 サーバー環境が必要です。ws2016-x64 ドライバーを WS2012R2 + SCVMM2012 R2 環境にインストールすることはできません。
- SCVMM 2016 環境では、WS 2008 R2 OS の展開はサポートされていません。ただし、ws2008r2-x64 ドライバーは同じ環境にインストールされます。
- 高可用性構成では、プライマリノードである必要があります。
- <sup>1</sup>一部のドライバーをブートイメージに組み込むことができません。詳しくは、[一部のドライバーのブートイメージへの組み込みに失敗する](#)に関する章を参照してください。
- <sup>2</sup>Windows Server 2008 R2 を UEFI サーバーに展開する場合、UEFI Optimized Boot と Secure Boot を無効にする必要があります。

## サポートされるターゲットサーバー

以下のサーバーを展開および管理できます。

オペレーティングシステムのサーバーモデル	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2012	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2016
BL420c Gen8	対応	対応	対応	対応
BL460c G7	対応	対応	対応	非対応
BL460c Gen8	対応	対応	対応	対応
BL460c Gen9	対応	対応	対応	対応

表は続く

オペレーティングシステムのサーバーモデル	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2012	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2016
BL465c G7	対応	対応	対応	非対応
BL465c Gen8	対応	対応	対応	対応
BL490c G7	対応	対応	対応	非対応
BL620c G7	対応	対応	対応	非対応
BL660c Gen8	対応	対応	対応	対応
BL660c Gen9	対応	対応	対応	対応
BL680c G7	対応	対応	対応	非対応
BL685c G7	対応	対応	対応	非対応
DL60 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL80 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL120 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL160 Gen8	対応	対応	対応	対応
DL160 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL180 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL320e Gen8	対応	対応	対応	対応
DL320e Gen8 V2	対応	対応	対応	対応
DL360 G7	対応	対応	対応	非対応
DL360e Gen8	対応	対応	対応	対応
DL360p Gen8	対応	対応	対応	対応
DL360 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL380 G7	対応	対応	対応	非対応
DL380e Gen8	対応	対応	対応	対応
DL380p Gen8	対応	対応	対応	対応
DL380 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL385 G7	対応	対応	対応	非対応
DL385p Gen8	対応	対応	対応	対応
DL560 Gen8	対応	対応	対応	対応
DL560 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL580 G7	対応	対応	対応	非対応
DL580 Gen8	対応	対応	対応	対応
DL580 Gen9	対応	対応	対応	対応
DL585 G7	対応	対応	対応	非対応
Synergy 480 Gen9	非対応	対応	対応	対応

制限：

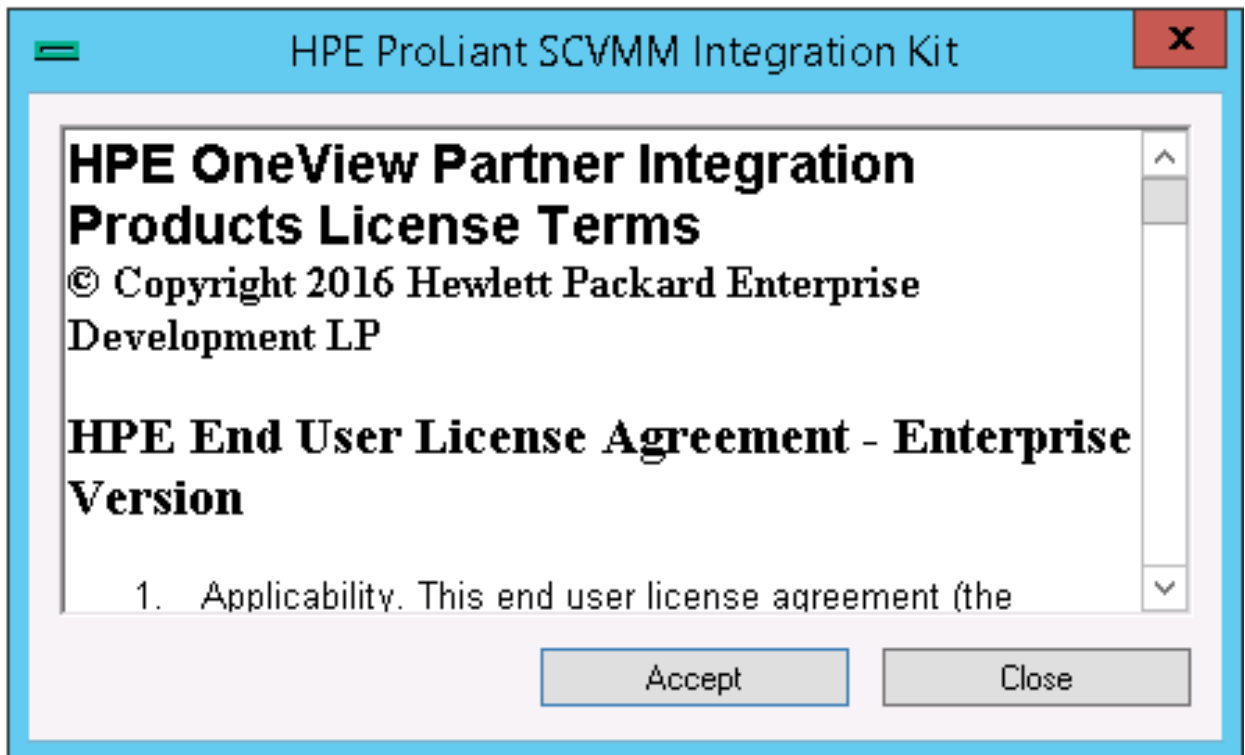
- ハードウェアの構成はサポートされていません。
- 複数のストレージコントローラーまたは複数のディスクが利用可能な（複数の DAS または SAN 接続のいずれかを使用）サーバーへの適切な展開は、デフォルトではサポートされていません。
- HP NC540 シリーズネットワークアダプターを使用した PXE ベースの展開はサポートされていません。

# インストールと構成

## インストール

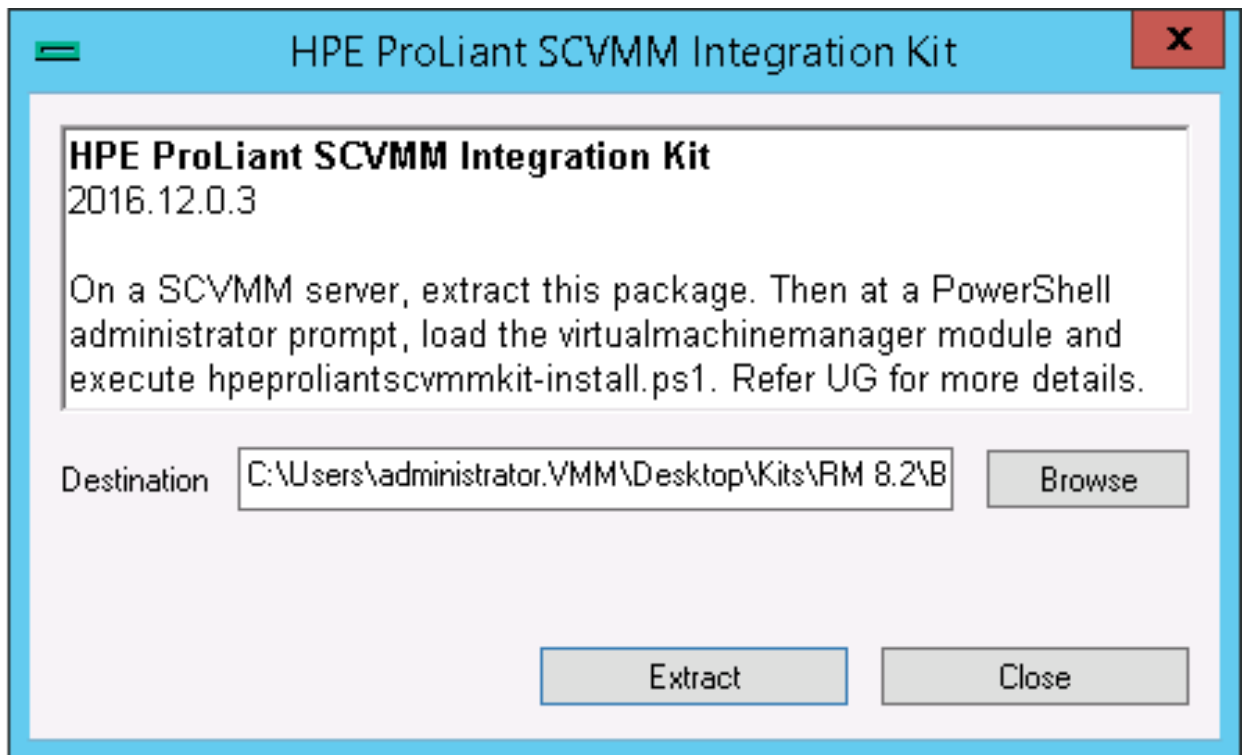
### 手順

1. 以下の前提条件が満たされていることを確認します。
  - a. サポートマトリックスで説明されている要件をサーバーが満たしている。
  - b. ログインユーザーが管理者レベルの権限を持っている。
2. SCVMM 管理サーバーで、`autorun.hta` を実行し、HPE OneView for Microsoft System Center イメージからのインストールを開始します。Install HPE ProLiant SCVMM Integration Kit をクリックします。
3. **Accept** をクリックします。



4. 必要に応じて、パッケージを抽出するためのディレクトリを指定します。**Extract** をクリックします。





5. 管理者モードで PowerShell を起動します。
6. `import-module virtualmachinemanager` を実行します。
7. 手順「4(8 ページ)」で指定したディレクトリに移動します。
8. `.\hpeproliantscvmmkit-install.ps1 <library share>` を実行します。

❗ **重要:**

インストール時に、ライブラリの共有を LibraryShare オブジェクトまたは共有の完全修飾 UNC パスとして、スクリプトに渡す必要があります。アップグレード時には、パラメータは必要ありません。完全な使用法の詳細については、`get-help .\hpeproliantscvmmkit-install.ps1` を使用します。

9. インストールスクリプトは、既存のドライバーの削除（必要な場合）、新しいドライバーのコピー、新しいドライバーのタグ付け、アンインストールスクリプトのコピーを行います。
10. インストールログは `hpeproliantscvmmkit.log` と名付けられており、Windows ディレクトリにあります。

❗ **重要:**

インストールスクリプトの変更はサポートされていません。

## 構成

デフォルトでは、SCVMM WinPE ブートイメージは新しい ProLiant サーバーをサポートしません。このキットは追加の WinPE ドライバーをライブラリにインストールします。新しい ProLiant サーバーをサポートするには、これらのドライバーを SCVMM WinPE ブートイメージに組み込む必要があります。

SCVMM WinPE ブートイメージをアップデートするには、Windows ADK WinPE の WIM ファイルをコピーし、それをマウントして、適切なドライバーを組み込み、マウントを解除します。そのイメージを SCVMM `publish-scwindowspe` コマンドレットを使用して WDS サーバーに公開します。

別の方法として、**System Center 2012 – Virtual Machine Manager Scripting Guide** には、単一のタグに一致するドライバーを WinPE ブートイメージに組み込んでからそのイメージを WDS サーバーに公開する PowerShell スクリプトが説明されています。

## アップグレード

アップグレード時には、既存のドライバーは削除され、新しいドライバーが追加されます。SCVMM WinPE ブートイメージは、新しいドライバーを使用して再作成する必要があります。

---

### 注記:

HPE SCVMM Integration Kit をバージョン 8.1 から 8.2 にアップグレードした後、SCVMM コンソールの HP フォルダーはライブラリ->ライブラリサーバー->HP という場所に保持されます。

---

## アンインストール

### 手順

1. 管理者モードで PowerShell を起動します。
2. SCVMM インストールディレクトリ (たとえば C:\Program Files\Microsoft System Center 2012\Virtual Machine Manager) に移動します。
3. `.\hpeproliantscvmmkit-uninstall.ps1` を実行します。
4. アンインストールログは `hpeproliantscvmmkit.log` と名付けられており、Windows ディレクトリにあります。



### 重要:

アンインストールスクリプトの変更はサポートされていません。

---

### 注記:

アンインストール後、SCVMM コンソールの HPE フォルダーはライブラリ->ライブラリサーバー->HPE という場所に保持されます。

---

# Hyper-V の ProLiant サーバーへの展開

## ハードウェア構成

デフォルト以外の特別なハードウェア構成（たとえば、独自の RAID レベルなど）を必要とする場合は、Option ROM 構成や STK ユーティリティなど、適切なツールを使用してください。

## Hyper-V ホストの展開

ベアメタル ProLiant サーバーに Hyper-V ホストを展開するには、標準的な SCVMM の手順に従って、ホスト/物理コンピュータープロファイルを作成し、**リソースの追加：Hyper-V ホストとクラスターウィザード**を使用して検出と展開を実行します。

---

### ❗ 重要:

- **資格情報とプロトコル**画面で、有効な iLO 管理者の認証情報を持つ**実行アカウント**を指定し、**プロトコル**を **Intelligent Platform Management Interface (IPMI)**に設定します。
  - PnP Id ではなくタグに適合するドライバーをフィルタリングするホストプロファイルを選択します。PnP ID を使用すると、ブルースクリーンになる場合があります。
-

# ProLiant ファームウェアおよびソフトウェアアップデートの展開

ProLiant Updates Catalog は、最新のファームウェアとソフトウェアを SPP から提供します。SCUP および SCVMM Updates Catalog とともにカタログを使用すると、ProLiant サーバーを最新に維持することができます。詳しくは、<http://www.hpe.com/info/ovsc/docs> を参照してください。

---

① **重要:**

新たに展開されたサーバーにカタログのアップデートを適用すると、iLO ドライバーが完全にインストールされ、追加のドライバーおよびユーティリティがインストールされ、既存のドライバーがアップデートされます。

---

# トラブルシューティング

## ドメイン参加手順中に、OS の展開がターゲットサーバーで失敗する

### 症状

ベアメタル OSD または Fabric Management アドイン OSD を介した HPE サーバーへの OS の展開では、ドメインへのターゲットサーバーの追加に失敗します。システムが次のエラーメッセージを表示します。The physical computer with SMBIOS GUID 30373237-3132-5355-4534-34394652454b did not join Active Directory in time. The computer was expected to join Active Directory using the <computer name>

### 原因

- 物理マシンのコンピューターと、Windows のカスタマイズのログでエラーがないか確認します。エラーがない場合、Windows のカスタマイズであり、Active Directory への参加に時間がかかっている可能性があります。
- ターゲットサーバーが SCVMM ジョブ（ジョブ名：Wait for physical machine to reboot and customization to be finished）を通じてドメインに自動的に参加するのを待機してみてください。処理が進まない場合は、手動でドメインに追加します。

## 一部のドライバーのブートイメージへの組み込みに失敗する

この問題について考えられる原因の 1 つは、DISM とオペレーティングシステムでサポートされている署名方式よりも新しい方式でドライバーが署名されていることです。その場合は、ドライバーは署名なしドライバーとして扱われ、ブートイメージに組み込まれません。たとえば、SCVMM 2012 R2 を Windows Server 2012 上で実行中は、一部の Windows Server 2012 R2 ドライバーを x64 ブートイメージに組み込むことはできません。問題のドライバーが環境に必要な場合は、そのドライバーをブートイメージに組み込まないでください。

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイト (<http://www.hpe.com/assistance>) にアクセスします。
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト (<http://www.hpe.com/support/hpesc>) にアクセスします。

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品は、製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするメカニズムを備えています。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨される更新方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
  - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの「メールニュース配信登録」ページ：<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
  - Software Depot の Web サイト：<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページ (<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>) にアクセスします。

### ❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。

## ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

Insight Management には、1 年間、24 時間年中無休の HPE ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実装および操作に関する問題を解決するための支援情報についての Hewlett Packard Enterprise テクニカルリソースへのアクセスを提供します。

このサービスはさらにソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルへのアクセスを提供します。Hewlett Packard Enterprise から、電子形式のデータとして入手することができます。電子ライセンスの使用権を購入した場合、電子アップデートが利用できます。

このサービスで、Insight Management のお客様は、ソフトウェアアップデートの通知と入手だけでなく効率の良い問題解決も受けることができます。このサービスについて詳しくは、HPE OneView Services の Web サイト (**HPE OneView Services**) を参照してください。

このサービスの登録は、ライセンス証明/ライセンスキーをオンラインで引き換えた時点で行われます。

## ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

ソフトウェアのアップデートがリリースされると、最新版のソフトウェアおよびドキュメントを入手いただけます。ソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルは、Hewlett Packard Enterprise ソフトウェアサポート契約に基づく製品のソフトウェア、ドキュメントライセンスアップデートへのアクセスを提供します。

このポータルには Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトからアクセスできます。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

プロファイルを作成し、サポート契約をプロファイルにリンクした後で、<http://www.hpe.com/support/e-updates> にあるソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルを参照し、ソフトウェア、ドキュメント、およびライセンスのアップデートを取得してください。

## 保証情報

HPE ProLiant および x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## Hewlett Packard Enterprise 製品販売店

最寄りの Hewlett Packard Enterprise 製品販売店は、次の方法で調べることができます。

- 米国内の場合は、「Hewlett Packard Enterprise U.S. Service Locator」の Web サイトを参照してください。  
[http://www.hpe.com/support/service\\_locator](http://www.hpe.com/support/service_locator)
- 他の地域では、「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」の Web サイトを参照してください。  
<http://www.hpe.com/info/assistance>

## Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">http://www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://www.hpe.com/support/hpesc">http://www.hpe.com/support/hpesc</a>
Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先	<a href="http://www.hpe.com/assistance">http://www.hpe.com/assistance</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>

表は続く

Web サイト	リンク
Software Depot	<a href="http://www.hpe.com/support/softwaredepot">http://www.hpe.com/support/softwaredepot</a>
カスタマーセルフリペア	<a href="http://www.hpe.com/support/selfrepair">http://www.hpe.com/support/selfrepair</a>
Insight Remote Support	<a href="http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs">http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs</a>
Serviceguard Solutions for HP-UX	<a href="http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs">http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">http://www.hpe.com/storage/spock</a>
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">http://www.hpe.com/storage/whitepapers</a>

## カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

CSR について詳しくは、最寄りのサービス窓口にお問い合わせるかまたは次に示す CSR の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。



# 用語集

## **SCUP**

System Center Updates Publisher

## **SCVMM**

System Center Virtual Machine Manager

## **SPP**

Service Pack for ProLiant

## **STK**

HPE Scripting Toolkit

## **SUM**

HP Smart Update Manager

## **WSUS**

Windows Server Update Services